

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	亀岡保育園	施設種別	保育所 (旧体系：)
評価機関名	一般社団法人京都府保育協会		

平成 25 年 12 月 17 日

総 評	<p>亀岡保育園は、JR 亀岡駅に近い亀岡の南東部に位置し、亀岡中学校、亀岡高等学校に隣接した昭和 24 年設立の歴史ある保育園です。</p> <p>大本の神苑で誕生し、宗教法人「大本」の理念によって設立されました。創設以来、「愛善保育理念」に基づき、農繁託児所の実施など地域の子どもを育ててきました。子ども達は神様からお預かりしているという考えのもと、一人ひとりを大切に特性を伸ばし、情操・体力を育てる保育を行っています。</p> <p>特に、音楽・絵画に力を入れており、専門講師を招いての指導や内容の充実を図っています。</p> <p>食育では、保育園外にある畑で、園児がたまねぎやさつまいもを育て収穫する体験を取り入れると共に、食事は出来る限り手作りを心がけバラエティーに富んだ食材を大きめにカットし咀嚼力の向上を図るなど工夫をおこなっています。</p> <p>食事前には愛善理念である「3種のうた」の挨拶を行うなど、水の大切さ、感謝を乳児期から伝えています。</p> <p>常勤・非常勤職員を問わず外部研修受講の機会を設けたり、園内研修で講師を招くなど職員の資質向上に努めています。</p> <p>産業医や衛生管理士を設置し、主任・副園長が窓口となり職員の相談を受け付けるなど、職員の労働環境の充実に努めています。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝、職員朝礼を実施しています。毎夕、夕方の保育担当職員に対しても全体にて連携を図る時間を設け、日中の引き継ぎを丁寧に行うなど職員間での情報の共有に努めています。 ・防災への取り組みとして、幼児クラスになると個人用防災頭巾を座布団と兼ねて活用し、移動の際も持ち歩くなどいざという時に備え日頃から意識を高めています。 ・給食には七分づきの米を食べ、野菜等も地産地消を心がけています。ダシにもこだわり天然で薄味を用いています。地元で収穫した梅で梅干をつけるなど食育には力を入れています。 ・在園児だけではなく、卒園児や地域の方も誘い、施設内に設けた茶室で「お茶会」を開催するなど地域交流を大切にしています。
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な職員会議を定期的に行ったり 6 つの委員会を中心に運営したりするなど、職員間での情報共有や保育計画など質の向上に努めています。その会議の内容を会議録にまとめるなど記録の充実を図るとな良いでしょう。 ・園だよりの発行や参観・懇談会を設けると共に、ビデオや写真で保育の様子を保護者に知らせています。その際、保護者アンケートを行うなどして満足度の把握や情報収集を行うとなお良いでしょう。 ・様々な職員研修の機会を保障しています。職員間で報告会を設けるなど資質向上に努めており、その研修計画や報告記録の充実を図る具体的方策を定め実施を予定しています。

※それぞれ内容を 3 点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 保育の理念・基本方針・目標	I-1-(1) 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。	① 保育の理念が明文化されている。	A	A
		② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。	A	A
	I-1-(2) 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。	① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。	B	A
		② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。	B	A
I-2 計画の策定	I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。(非該当)	非該当	非該当
		I-2-(2) 保育の計画が適切に策定されている。	① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている	B
	② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。		A	A
	③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。		A	A
	④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。		A	A
	⑤ 保育課程・指導計画が職員や利用者等に周知されている。	B	A	
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。	B	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	B	A
	I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	B	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	B	B

[自由記述欄]

・法人の理念に基づき、保育の理念・基本方針が園のパンフレットや要覧に明文化され、保育室に掲示しています。職員対象に法人理念を周知するための研修を保育方針研修として行っています。園紹介のホームページや、市役所配布のパンフレットにも明示され地域への発信も行っています。

・保育課程に基づき、年間指導計画、短期指導計画を作成しています。毎月、クラス会議等で評価・反省を行い、次回の指導計画に反映しています。保育室に保育課程を掲示するなど利用者への周知も行っています。保育課程の編成において保護者の意向を反映させるため利用者アンケートを行うと良いでしょう。

・管理者は、全体職員会議や各部署会議、行事会議など各会議に出席し、リーダーシップを発揮しながら取り組んでいます。遵守すべき法令等をリスト化し、閲覧性を高めると良いでしょう。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	B	B
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A	A
		② 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	B	A
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	B	A
		② 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A	A
		③ 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	B	B
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	B	B
		② 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	B	A
II-3 地域との交流と連携	II-3-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	B	B
		② 利用者地域とのかかわりを大切にしている。	B	A
		③ 事業所が有する機能を地域に還元している。	B	A
	II-3-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	B	B
		① 必要な社会資源を明確にしている。	A	A

[自由記述欄]

・管理者は、地域に関わる会議等に参加しています。そこで得た情報を事業計画に反映するとより良いでしょう。

・外部研修受講の機会を設けたり、園内研修として講師を招いたり、理事長が講師となって園の方針を共有するなど職員の資質向上に努めています。職員間で報告会を設けるなど園全体の質向上に努めています。今後は、職員一人ひとりに対する研修計画と、報告記録の充実を図るとな良いでしょう。

・産業医や衛生管理士を設置し、主任・副園長が窓口となり職員の相談を受け付けるなど、職員の労働環境の充実に努めています。

・実習生の受け入れを実施しています。今後は養成校が指定する書類の作成だけでなく、保育所でも実習中のプログラムを作成すると良いでしょう。

・夏祭りなど行事の際には、ボランティアや地域・卒園生・退職職員等が参加するなど地域交流を進めています。また園内に茶室があり、毎月お茶会を開催し地域の方や保護者も参加し関わりを深めています。今後はボランティアを受け入れる際の意義・方針等を明文化すると良いでしょう。

・関係機関・団体の連絡に関する情報が、職員室に掲示されているなど職員間で共有しています。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	B	A
		② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	B	A
	Ⅲ-1-(2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	B	A
Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。	B	A
		② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。	C	B
	Ⅲ-2-(2) サービス実施の記録が適切に行われている。	① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	B	A
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A	A
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A
	Ⅲ-3 サービスの開始・継続	Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	B
② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。			A	A
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	C	B

[自由記述欄]

- ・プライバシー保護に関する規程を整備し、入園時に保護者に説明し、同意書を取っています。
- ・苦情解決の仕組みを整備し、園内にその内容と第三者委員の明記や、意見箱を設置しています。地域からの意見等は、便りや園だよりを活用し利用者に周知すると共に、指摘事項を改善するよう努力しています。
- ・今回2回目の第三者評価受診に際し、委員会を立ち上げ園内の評価・改善等を実施すると共に、その内容を共有しています。今後は、職員個別の自己評価も実施し、保育の質向上に繋がられるシステムを作成すると良いでしょう。
- ・入園時には、所定の用紙に基づき子どもの様子や家庭状況の把握に努めています。その書類等は適切に管理しています。また、毎日朝礼と終礼を行い職員間の情報共有に努めています。
- ・他の保育園に転園する園児に関して、保護者の意向に応じて保育の継続性に配慮した書類等の仕組みを整備すると良いでしょう。

IV-1 子どもの発達援助

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-1 子どもの発達援助	IV-1-(1) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	B	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	A	A
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A
	IV-1-(2) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	B	A
	IV-1-(3) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	B	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	A	A
		④ 身近な自然や社会とかわかれるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	A	A
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てよう配慮している	A	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	B	A
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	A	A

【自由記述欄】

・0歳児クラスの保育室には個別の睡眠・平熱・排泄等を随時記入する白板があり、一人ひとりに応じた対応をしています。

・感染症予防・対応マニュアルを保育室内に掲示しています。3歳児以上のクラスでは、毎朝塩水でうがいをし感染予防に努めています。

・身体計測は(幼児年3回・乳児年4回)、歯科検診(年2回)、内科検診(年1回)を実施し、結果を保護者に報告するなど家庭保育に反映するよう努めています。

・食育は特色のひとつとして力を入れています。家庭の味を大切に手作り・天然だし・薄味を心がけて和食を中心に調理しています。近隣の園で栽培する畑で収穫したものや、地元の野菜を取り入れた様々な食材を用い、発達過程に応じた大きさにカットするなど咀嚼力の向上にも配慮しています。お米は7分づきのものを使用しています。

・食物アレルギー疾患を持つ子どもに対しては、医師からの指示書に基づき、除去食を提供しています。出来る限り他の子どもと形状の似た代替食の提供に努めています。

・各保育室は清潔に保たれ、温度計・湿度計を設置し、空気清浄器を用いるなど、心地よく過ごせるよう室内環境に配慮しています。園内の安全点検も点検表に基づき実施し、改善箇所の早急な対応に努めています。

・音楽・絵画に力を入れており、専門講師を招いて指導や内容の充実を図っています。

・日常の散歩をはじめ地域環境を生かしたトロッコ列車の乗車体験や野菜の育成など自然との触れ合いを大切にしています。四季折々の草花や実を制作に取り入れ、小動物と触れ合ったりするなど自然物を保育に取り入れています。

・SIDSの予防チェック表が乳児の保育室にあり、定期的に状態確認を行うなど予防に努めています。

・障害児保育に関しては、支援スタッフ会議を設け、保健センターの巡回や専門機関からのアドバイスを受けながらポータープログラムを用いて行っています。

IV-2 子育て支援

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-2 子育て支援	IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	B	B
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
		⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。	A	A
	IV-2-(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	非該当	非該当

[自由記述欄]

・保護者とは個別ノートと共に、送迎時直接声をかけ情報交換を行っています。その内容について記録するとお良いでしょう。

・子ども一人ひとりの発達状況は「個人記録」として記載され、個別対応が必要な場合は管理者も含めた会議で検討がなされ、関係機関との連携を図りながら対応しています。

IV-3 安全・事故防止

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-3 安全・事故防止	(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A	A
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	B	A
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	B	A
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	B	B
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	B	B

[自由記述欄]				
<p>・調理場、水まわりの衛生管理は、マニュアルに基づき実施し、その内容を記録しています。</p> <p>・食中毒マニュアルに基づき、発生の際には的確な対応ができるよう体制を整えています。</p> <p>・「地震発生時の行動ポイント」として全職員が閲覧できる場所に掲示しています。</p> <p>・「火災発生時の指令マニュアル」が整備されており、全職員が閲覧できる場所に掲示しています。</p> <p>・緊急時のアナウンスの内容や緊急連絡先が掲示されており、緊急時の対策を講じています。</p> <p>・事故・災害発生時・不審者侵入時のマニュアルは整備されています。訓練や研修の記録を整備され、定期的に見直すとなお良いでしょう。</p>				